Q 台風への備え どうしたらいいの？

夏から秋にかけては台風シーズン。毎年大きな被害をもたらしているので心配です。台風が来る前にできる対策を教えてください！

台風に備えるココがポイント

外のモノを室内に移動

鉢植えや庭木、屋外のテーブルや椅子、自転車、バイクなどは、強風で転倒したり飛ばされたりすることがあります。そうならないように、移動できるものは風の影響を受けない室内やガレージに移動しましょう。移動できないものは、あらかじめ横に倒しておくか、丈夫な紐でしっかりと固定しておきます。P23へ

排水まわりの掃除

ベランダや屋上のドレインに、落ち葉などがたまっていませんか？ 排水口がふさがれて、雨水が排水されずにベランダにたまり、室内に流れ込んでしまうことがあります。これを機会に排水まわりの掃除をしましょう。P24へ

開口部をもれなく閉める

サッシのすき間や換気システムの給気口から水がしみ込み、室内の壁クロスが汚れてしまうことがあります。シャッターや雨戸を閉めるのはもちろん、24時間換気システムのスライドシャッターも忘れずに閉め、雨水の浸入を防ぎましょう。P25へ

取材協力・メンテナンス指導：株式会社エイ・エフ・オー

A お答えします！

台風による住宅の被害を防ぐためには、大雨と強風への備えを徹底することが大切です。特に夏は、大型で強い台風が上陸します。ベランダで水があふれないように、また、風でモノが飛ばされないように、早めに準備をしましょう。

メンテナンス指導
株式会社エイ・エフ・オー
和田卓美さん

台風が過ぎた後、ベランダや屋上で水があふれてしまうことがあります。これは、大雨で流された落ち葉がドレイン（排水口）に詰まり、流れなくなった水がたまってしまうことが原因です。ほかにも、ベランダに置いていた鉢植えが倒れて割れてしまう、換気システムの給気口から雨水が入り壁のクロスが汚れてしまう、風で網戸が外れてしまうなどのトラブルもあります。いずれも、備えておけば回避できることなので対策しておきましょう。

「ベランダ・屋上・外まわり」「排水まわり」「屋内」の3箇所に分けて、対策をご紹介します。

使用する道具（例）

1. バケツ
2. 長靴
3. ゴム手袋
4. スポンジ＊（やわらかいものを選びましょう）
5. ハンドブラシ＊Ⓦ
6. 洗車ブラシ＊

＊4、5、6はどれか一つで大丈夫です

7. チャンネルブラシ
8. マイナスドライバー
9. プラスドライバー

Ⓦ 5のハンドブラシは通信販売でご購入いただけます。詳しくはP52をご覧ください。

PART1 ベランダ・屋上・外まわり

風で飛ばされそうなものが置いたままになっていないかチェックします。
小さな物でも、強風で飛ばされると外壁や人を傷つけることもあり、危険です。
また、重いものでも転倒することがありますので、あらかじめ横に倒しておくなどの対策を取っておきましょう。

ベランダ・屋上

2階のベランダや屋上などの高い所ほど、風の影響を受けやすくなります。物干し竿、テーブル、椅子など、手で動かせるものは、風の当たらない所へ避難させます。折りたたみ式の物干しアームは、折りたたんで収納しておくと安全です。手すりも緩んでいないか確認しましょう。

風で飛ばされそうなもの

鉢植えやプランターを室内へ移動させる

よしずやすだれは窓から外して室内へ移動させる

物干し竿

1.高い位置にある物干し竿を、アームから外す

2.外した物干し竿は、壁際や窓際など風の影響を受けない場所に置く

手すり

1.手すりに力を加え、カタカタと緩みがないかをチェックする

2.手すりが緩んでいたら、手すりを固定しているビスを締める

ベランダ床

ドレインの詰まりの原因になる土や落ち葉を掃き掃除する

アドバイス

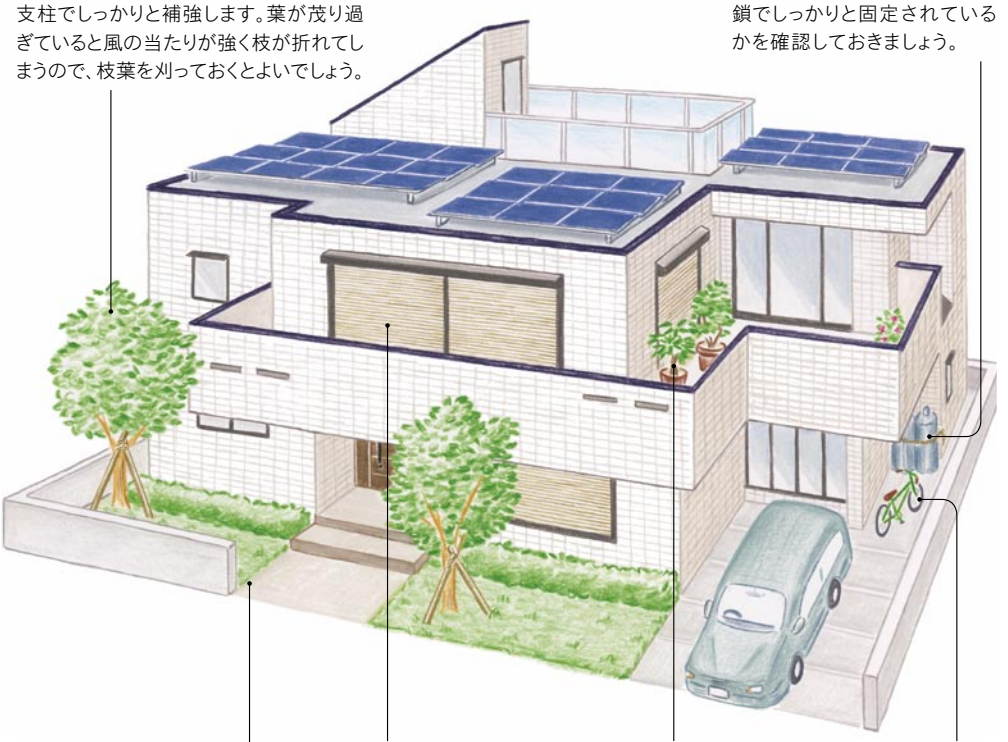
①伸縮物干し竿の場合は、縮めて室内へ移動させておきましょう。

②普段から鉢植えやプランターの下にある細かいゴミを取り除いておきましょう。

外まわり

自転車やバイクが外に出しっぱなしになっていないか、ガレージのシャッターはしっかりと締まっているかをチェックしましょう。庭木は種類によっては、植えてから数年間は根が十分に張っていないものがあります。支柱による補強をしておきましょう。

外まわりのチェック！



庭木の暴風対策

支柱でしっかりと補強します。葉が茂り過ぎていると風の当たりが強く枝が折れてしまうので、枝葉を刈っておくとよいでしょう。

プロパンガスのボンベ

鎖でしっかりと固定されているかを確認しておきましょう。

排水桝

落ち葉や土、砂などの細かいゴミを掃除して、水はけをよくしましょう。

シャッター

シャッターや雨戸をしっかりと閉め、雨水が室内に浸入するのを防ぎましょう。

鉢植えやプランター

風で飛ばされないように、室内に持ち運ぶか、転倒しないように紐で固定しましょう。

自転車やバイク

強風で倒れたり飛んだりすると危険なので、軒下に片づけましょう。

PART2 排水まわり

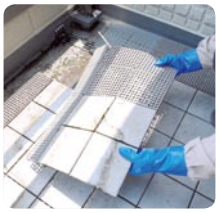
ベランダや屋上には雨水を排水するためのドレイン、家のまわりには汚水桝や雨水桝などの排水桝が設置されています。
そうした排水まわりに詰まりがあると雨水をうまく排水できず、水が室内に浸入してしまうことがあります。
台風が来る前にドレインや排水桝の掃除をして、トラブルを回避しましょう。

ベランダ・屋上のドレイン

ベランダや屋上のドレインの掃除をしましょう。このとき、クレガーレ（床仕上げ材）の下に敷かれている防水シートの傷も忘れずにチェックしましょう。

ドレイン

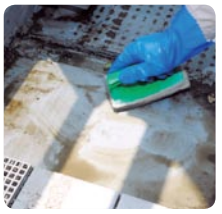
1.ドレインカバー周辺の落ち葉や土を取り除く


2.ドレインカバーを覆っているクレガーレを外す

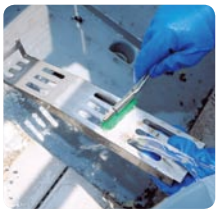
3.ドレインカバーを押さえている金具を外す

4.ドレインカバーを引き出して外す

5.バケツの水を排水口部分に流し込む


6.ハンドブラシで防水シートを洗う（シートを傷付けないやわらかいスポンジでも可）

7.チャンネルブラシでドレインの内側を洗う（歯ブラシでも可）


8.外したドレインカバーをチャンネルブラシで洗う

9.防水シートに傷や割れがないかチェック

10.ドレインカバーを元どおりにはめる

11.ドレインカバーを抑える金具をはめる

12.クレガーレを元どおりにはめる

もしも傷を見つけたら？
防水シートに傷を見つけたら、乾いた雑巾で拭いてから応急処置として布製ガムテープを貼り、ヘーベリアンセンターまでご連絡ください。
（連絡先はP59に掲載しています）

屋外の排水桝（ます）

屋外には生活排水が流れ込む「汚水桝」と、雨水が流れ込む「雨水桝」という2つの排水桝があります。どちらも、落ち葉や土、砂などが入り込んで詰まっていると水がたまって、あふれてしまいます。しっかりと点検・掃除をしましょう。

汚水桝（ます）・雨水桝（ます）

1.マイナスドライバーを溝に差し込んで、フタを外す

2.落ち葉や土が入り込んでいないか、内側の汚れをチェックする

3.ホースで水をかけながら、チャンネルブラシで縁の汚れを洗い流す

4.ホースで水をかけながら、チャンネルブラシで内側を洗う

5.水圧を強くして、奥の汚れを洗い流す

6.水をかけながらフタの裏表、縁をしっかり洗う

7.フタが浮かないようにきっちりと閉める

PART3 屋内

すべての部屋のサッシ、シャッターや雨戸は鍵がしっかり締まっているかを確認しましょう。
しっかり対策ができていると安心できます。24時間換気システムはつけっぱなしになっていないかも忘れずにチェックしましょう。
鍵（クレセント）をかけておいたつもりが、かかっていなかったということがないよう、もう一度点検しましょう。

換気システム

強風で雨が吹きつけられると、給気口から室内に水が入ってくることがあります。

機種によって操作方法が異なりますので、取扱説明書をご確認ください。

24時間換気システム

1. 24時間換気システムのスイッチを「切」にする

2.スライドシャッターを閉めて雨水の浸入を防ぐ

アドバイス

換気システムのスイッチを切るだけでなく、スライドシャッターが閉まっているか、再点検しましょう。

窓まわり

サッシのすき間から雨水が浸入しないように、鍵（クレセント）をかけて窓の気密性を高めます。万が一、飛来物で窓ガラスが割れたときのため、シャッターや雨戸がない窓はカーテンやブラインドを閉めておきましょう。

サッシ、シャッター、雨戸

サッシをしっかり閉めたらクレセントをかける

クレセントが緩んでいたら、ビスを調整する

シャッターや雨戸を閉め、落とし錠で閉める

アドバイス

強い風雨が当たる2階以上でシャッターのない窓は、室内側の下枠部をタオルなどでカバーしましょう。

網戸

1.網戸が外れていないかチェックする

2.脱輪を防ぐためのツマミが出ていないか確認する（写真のように出ていたら押し込む）

3.網戸がスムーズに開閉するか確かめながら、ハズレ止めのネジを締める

網戸は中途半端なところにあると窓を傷つけてしまうので、室内から見て右側に寄せて閉める

PART4 台風通過後

ベランダ・外壁など

台風が通過した後は、ベランダ、屋上、外まわりを点検し、シャッターや雨戸に破損がないか、プロパンガスのボンベが倒れていないかを確認しましょう。

排水まわり

排水桝に落ち葉などが入り込まないように、ゴミを取り除く

外壁

外壁に傷がついていないか点検する

もしも傷や割れを見つけたら？

異常を発見した場合は、ヘーベリアンセンターまでご連絡ください。（連絡先はP59に掲載しています）

排水桝の点検・掃除

5年に一度はプロの高圧洗浄を！

排水桝の点検・掃除をしていても、手が届かない奥の方には細かいゴミや汚れが付着してしまいます。排水管が詰まってしまう前に、排水管の奥の汚れもすっきりと落とす**プロによる高圧洗浄**をお勧めします。

お申し込み・ご相談は、ヘーベリアンセンターまでご連絡ください。
（連絡先はP59に掲載しています）

台風以外の自然災害にも備えましょう

地震はもちろんですが、近年は、雷や竜巻、ひょうなど異常気象も増えています。日頃の備えを万全にしておくと安心です。

地震

地震の被害で多いのは、転倒した家具の下敷きになったり、割れたガラスの破片を踏んだりすることによるケガです。家具は転倒防止策を行い、上に重い物やガラス器具を置かないようにしましょう。食器棚は、扉を留め金で固定します。食器棚のガラス扉には、飛散防止のフィルムを貼るとよいでしょう。寝室や避難経路には、背の高い家具を配置しないように注意しましょう。

ひょう

上空の大気の状態が不安定になると、直径5㎜以上の氷の粒（ひょう）が降ることがあります。大きいものはピンポン玉大にもなり、直撃されるとガラスが割れる可能性があります。ひょうが降り始めたら、すぐにシャッターや雨戸を閉めます。ひょうが止んだら、外壁は傷ついていないか、窓ガラスは割れていないかを念入りにチェックしてください。

雷

近くに雷が落ちると、電化製品が誤作動したり故障したりすることがあります。雷が激しくなる前に、電化製品のプラグは抜いておきましょう。なお雷による電化製品の故障は、地震保険や家財保険で補償される場合もあります。万一の場合に備えてご加入の保険について確認しておくとよいでしょう。

竜巻

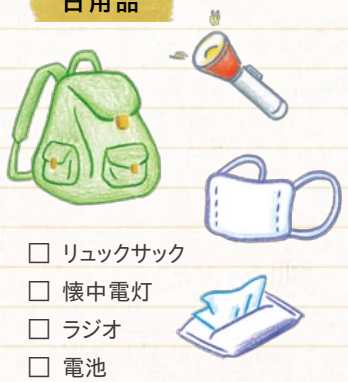
低気圧や前線の接近時、また台風接近時は、発達した積乱雲下で竜巻が発生しやすくなります。万一、近くで竜巻が発生したら、すぐに家の中に避難し、シャッターや雨戸を閉めましょう。竜巻が去った後は、飛来物によって屋根材、外壁が傷ついていないか、窓ガラスが割れていないかをチェックしてください。

※屋根や外壁などに傷や割れを見つけたときは、ヘーベリアンセンターまでお問い合わせください。（連絡先はP59に掲載しています）

非常用品必須アイテムリスト

備蓄する非常食は一人最低3日分を目安に
保管場所や使用（消費）期限も要チェック！

日用品



- ☐ リュックサック
- ☐ 懐中電灯
- ☐ ラジオ
- ☐ 電池
- ☐ 手動式充電器
- ☐ 軍手
- ☐ ロープ
- ☐ マッチやライター
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ マスク
- ☐ 非常用トイレ
- ☐ ティッシュなど
- ☐ 筆記用具
- ☐ 厚手のごみ袋など

医薬品など

- ☐ 救急医薬品
- ☐ 常備薬
- ☐ 予備の眼鏡など
- ☐ 防災頭巾やヘルメット
- ☐ 丈夫な靴
- ☐ 地図

衣類

- ☐ 下着
- ☐ タオル
- ☐ 寝袋
- ☐ 雨具

貴重品、お金

- ☐ 現金（小銭も）
- ☐ 預金通帳など
- ☐ 印鑑
- ☐ 健康保険証など
- ☐ 身分証明書

食料品など

- ☐ 飲料水
- ☐ 乾パンやクラッカーなど
- ☐ レトルト食品、缶詰
- ☐ 粉ミルク、哺乳ビンなど
- ☐ ナイフ、缶切り
- ☐ 鍋や水筒

出典：気象庁「大雨や台風に備えて」

Photographs:Kenji Takanaka
Text:Mayumi Yushina
Illustration:Yukiko Wakimoto